

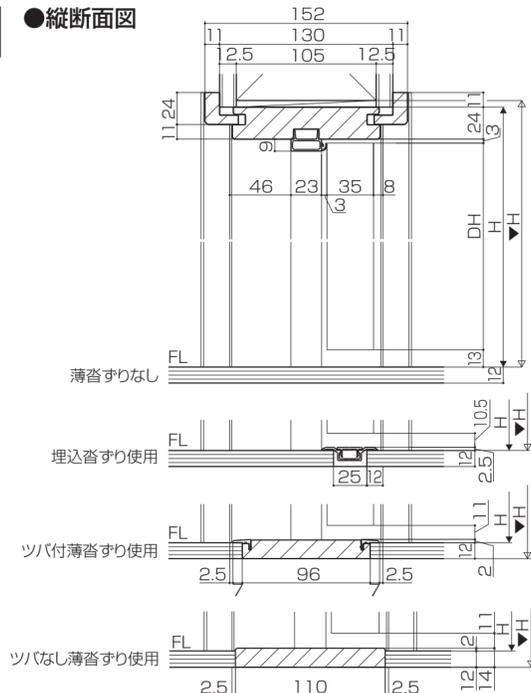


リビング建材 ファミリーライン 室内ドア 取付け説明書

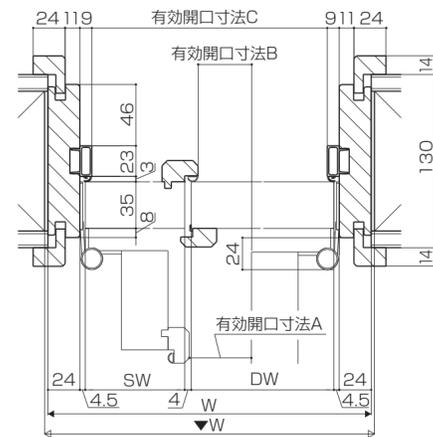
■親子ドアユニット ケーシング付

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W12 (1188)	991	657	1122

●縦断面図



●横断面図

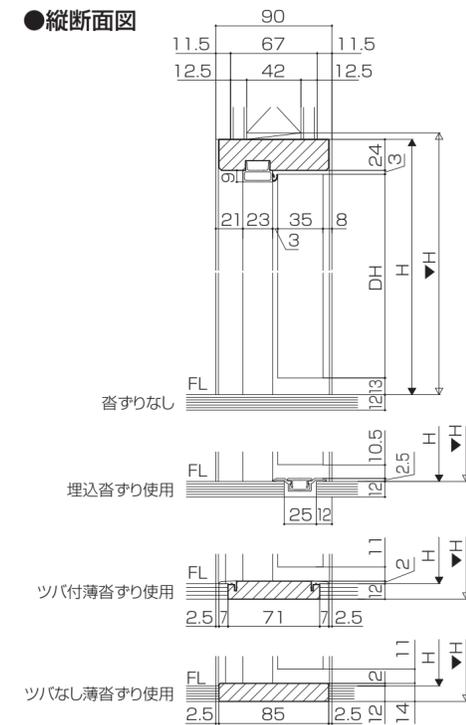


※枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

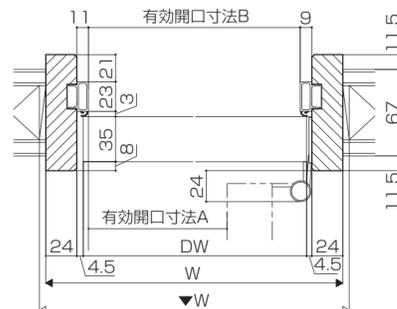
■標準/トイレドアユニット (NC90)

H呼称(枠外寸法)
H20 (2023)

●縦断面図



●横断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。本体脱落の原因につながります。
- 建付け調整(丁番による調整)時、枠側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

■取付け上のお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気が多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

	3方枠 ●縦枠(2本) (親子ドアの場合、丁番付き2本) ●上枠 ●上枠用戸当り ●縦枠用戸当り(2本) ●枠定規(施工工具用) ●部品セット ●取付け説明書			
	4方枠 ●縦枠(2本) (親子ドアの場合、丁番付き2本) ●上枠 ●ツバなし薄沓すり ●上枠用戸当り ●縦枠用戸当り(2本) ●部品セット(2個) ●取付け説明書			
	ツバ付薄沓すりセット(別売り) ●ツバ付薄沓すり ●ツバ材(2本)		埋込沓すりセット(別売り) ●埋込沓すり ●溝フタ	召合せ定規セット(親子ドアのみ) ※召合せ定規の取付け方法は、親子ドア本体用部品セットのチラシを参照してください。 ●部品セット
	ハンドルセット 		錠セット 	

■ 枠セット明細

縦 枠	標準ドア	トイレドア	親子ドア
上 枠	2	2	2
戸当り	1	1	1
戸当り	縦2・上1	縦2・上1	縦2・上1
(※1) 枠定規	1	1	1
(※2) 薄沓すり	1	1	1

※1) 3方枠の場合(4方枠には含まれません。)
 ※2) 4方枠の場合(3方枠には含まれません。)

■ ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■ 本体丁番ねじセット明細
 (枠に同梱、丁番にテープ止め)

本体取付けねじ(皿タッピンねじφ4×20)	8本
-----------------------	----

■ ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

■ 錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

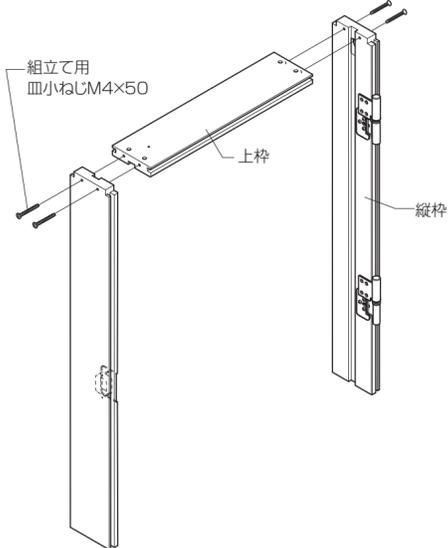
■ 取付け範囲 (単位: mm)

対象壁厚	ケーシングタイプ		ノンケーシングタイプ				
	薄壁用	厚壁用	NC90	NC115	NC156	NC171	NC180
111~141	142~182		50~75	76~100	116~130	131~145	146~160

■ 取付け順序

■ 枠の組立て
 [3方枠の場合]

● 下図のように各部材を組み合わせ、同梱のねじで固定します。



お願い
 ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

■ 部品セット明細

標準ドア・トイレドア用	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじM4×50	4本	8本
上枠・縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	9本	9本

■ 親子ドア用

組立て用皿小ねじM4×50	4本	4方枠
上枠・縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	10本	10本
フランス落とし受け	1個	1個
フランス落とし受け取付け用皿木ねじφ3.5×13	2本	2本

● ドアストッパーセットは別売りです。

■ 親子ドア本体用

ピース L/R	各1個
召合せ定規取付けねじ(ドラスタッピンねじφ4×16)	14本
召合せ定規取付けチラシ	1個

■ ツバ付薄沓すり用

組立て用トラスタッピンねじφ4×25	4本
--------------------	----

■ 埋込沓すり用

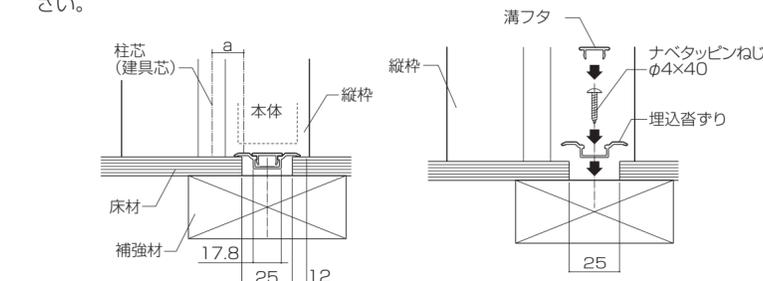
取付け用ナベタッピンねじφ4×40	4本
-------------------	----

■ [3方枠に埋込沓すりを使用する場合]



① 補強材を必ず入れ、下図の位置に25mmあけて床材を張ります。
 ※ 躯体に縦枠を仮止めて位置出しをしてください。

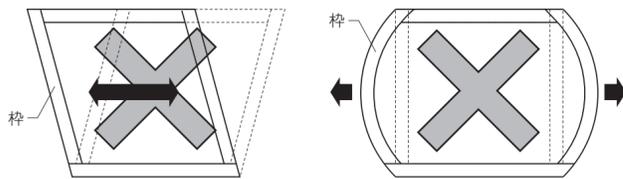
② 埋込沓すりを、戸当りに接する位置にねじ止めし、溝フタをはめ込みます。



枠機種	NC90	NC115	NC156	NC171	NC180	C付115(薄壁)	C付142(厚壁)
a寸法	8	20.5	41	48.5	53	20.5	34

■ お願い

※ ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
 ※ ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
 ※ 枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



■ 開口部の作り方

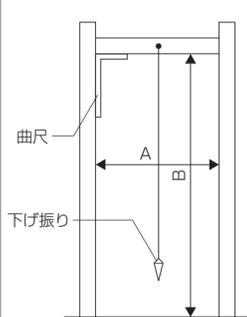
※ 開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+床厚+5mm

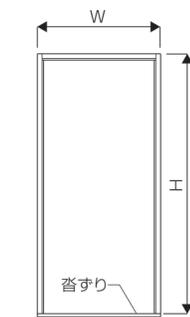
■ 壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ (単位: mm)

	ケーシング(定寸法)	対応壁厚
薄壁用	8	111~121
	14	122~133
	19	134~141
厚壁用	8	142~148
	14	149~160
	19	161~170

● 開口寸法

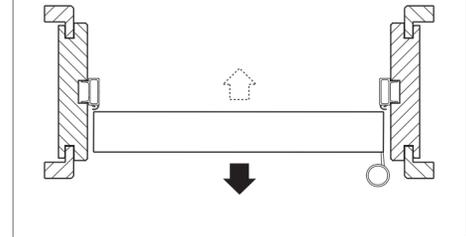


● 製品寸法



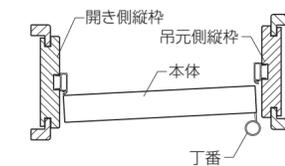
■ 前後の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(3mm)、後(1mm)です。



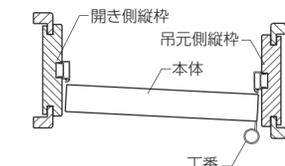
■ 不具合例

- 1. 開き側の枠が前に出ている。



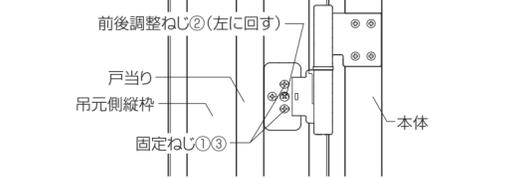
■ 不具合例

- 2. 吊元側の枠が前に出ている。



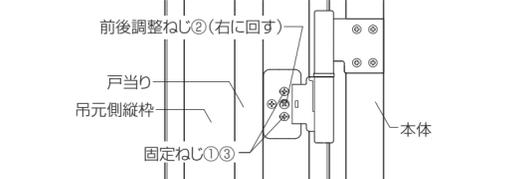
■ 調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

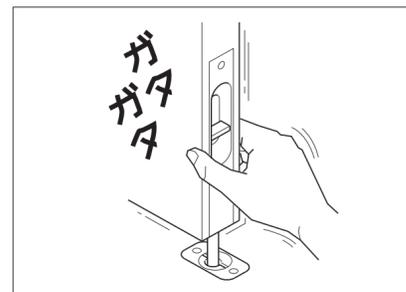


■ 調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

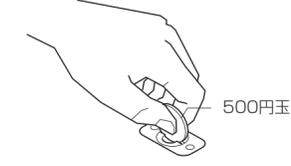


■ 子扉のガタツキ調整(フランス落とし受けによる調整)

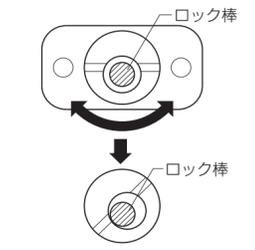


■ 子扉がガタつく。

- ① コイン等で穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



■ 【フランス落とし受け】

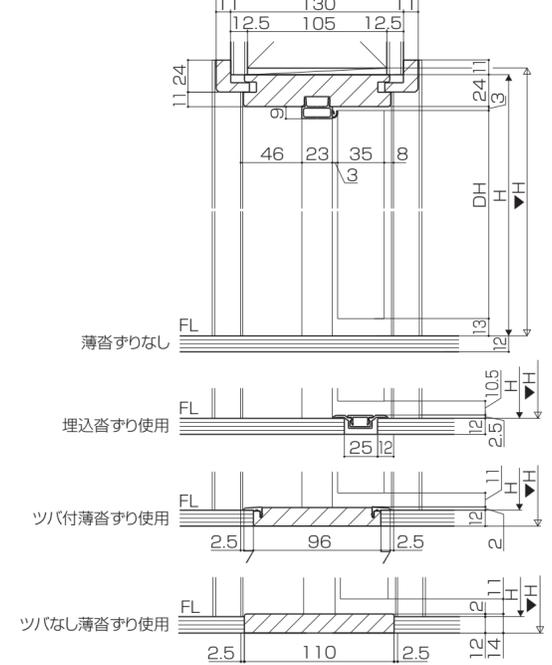


■ 納まり図

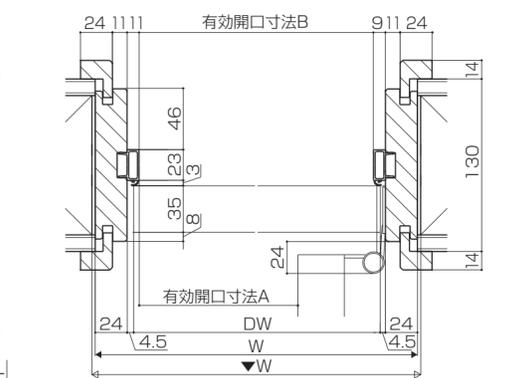
■ 標準 / トイレドアユニット ケーシング付

H呼称(枠外寸法)	H20 (2023)	
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W06 (734)	609	666
W065 (754)	629	686
W07 (780)	655	712
W08 (824)	699	756
W09 (868)	743	800
トイレドア	W06 (648)	523 580
	W08 (824)	699 756

● 縦断面図



● 横断面図

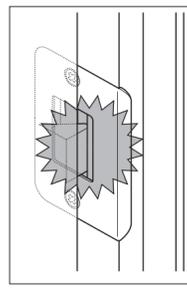
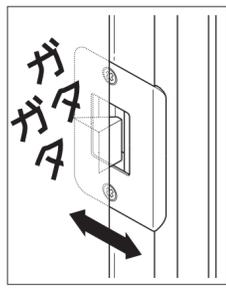


※ 枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

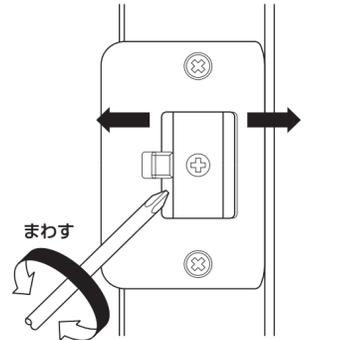
■建付け調整(ストライクによる調整)

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライクの中でガタつく ■ラッチがかからない

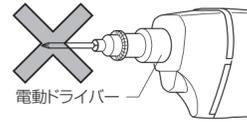
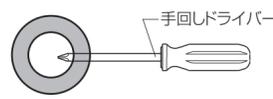


ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm



■建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。

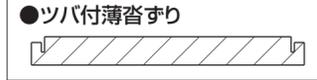


上下の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
<p>●本体側下丁番で調整します。 ●調整幅は、上側に3mm、下側に3mmです。</p>	<p>1. ドアの上部が枠に当たる。</p>	<p>①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③キャップをはめる。</p>	<p>2. ドアの下部が枠に当たる。</p>	<p>①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。 ③キャップをはめる。</p>

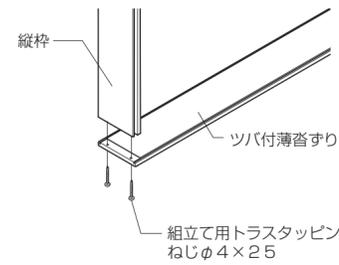
左右の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
<p>●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。 ●調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に1.5mmです。</p>	<p>1. ドアの開き側が枠に当たる。</p>	<p>①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。 ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。</p>	<p>2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。</p>	<p>①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。 ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。</p>

【3方枠にツバ付薄沓すりを使用する場合】

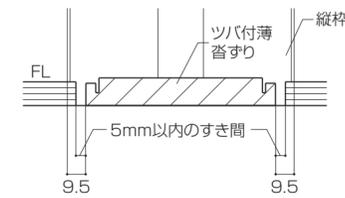
※縦枠と上枠の組立ては、3方枠の場合の記載を確認してください。



①下図のように各部材を組み合わせ、同梱のねじで固定します。



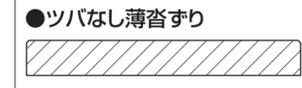
②枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。



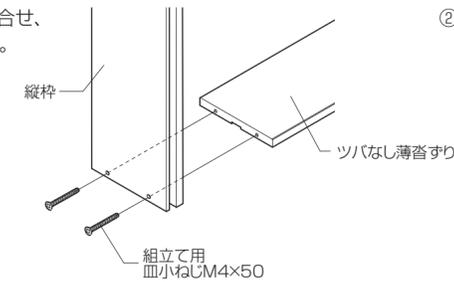
お願い
※床材とツバ付薄沓すりのすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

【4方枠の場合(床後張り(枠先付け))の場合】

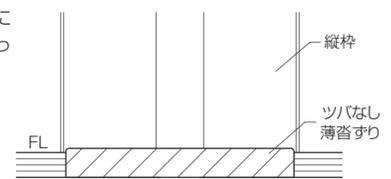
※縦枠と上枠の組立ては、3方枠の場合の記載を確認してください。



①右図のように各部材を合わせ、同梱のねじで固定します。

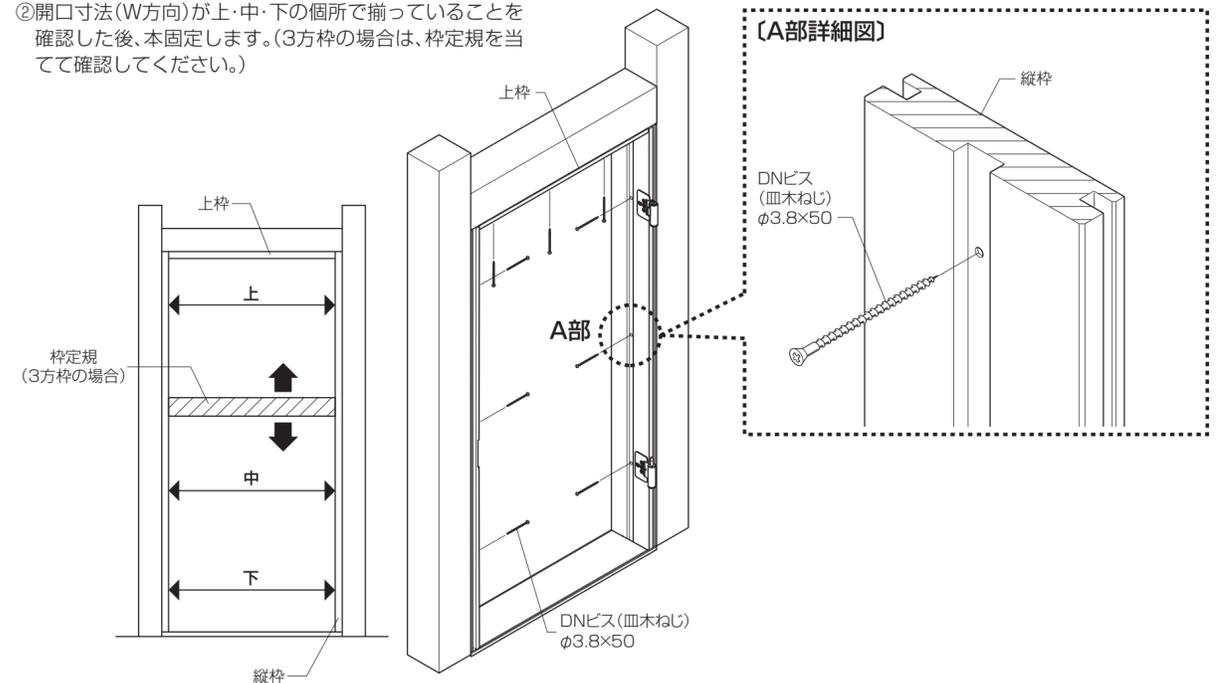


②枠の取り付け後、右図のように縦枠・ツバなし薄沓すりにそって床材を張ってください。



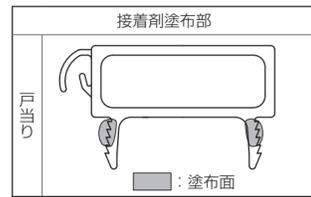
■枠の取付け

①枠を開口部に枠の垂直を確認した後、仮固定します。
※床先張り(枠後付け)の場合は、上枠・縦枠のみ固定します。
②開口寸法(W方向)が上・中・下の個所で揃っていることを確認した後、本固定します。(3方枠の場合は、枠定規を当てて確認してください。)



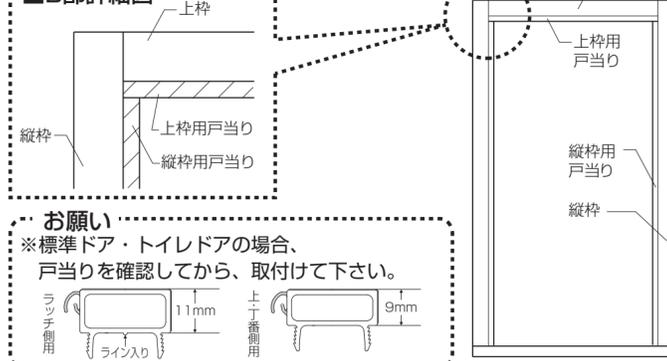
3 戸当りの取付け

- 現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
 - 戸当りの足の外側(リップのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください(塗布面は下図参照)。接着剤(現場手配)がはみ出した場合は必ずふきとってください。
- ※戸当りは、埋込沓すりより先に取付けてください。
 ※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。



お願い
 ※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

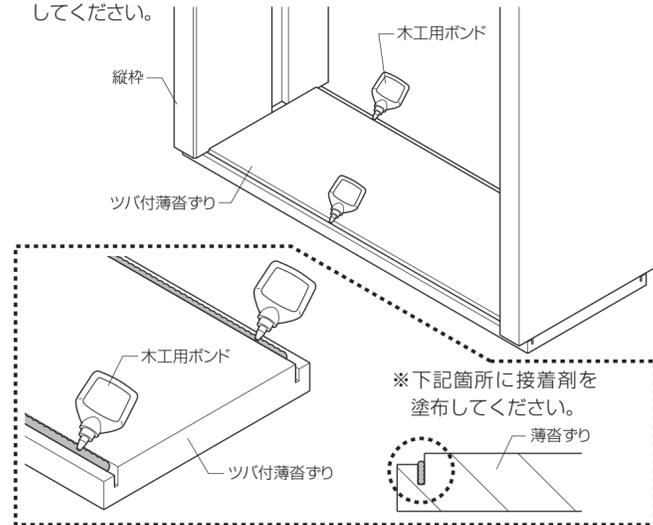
B部詳細図



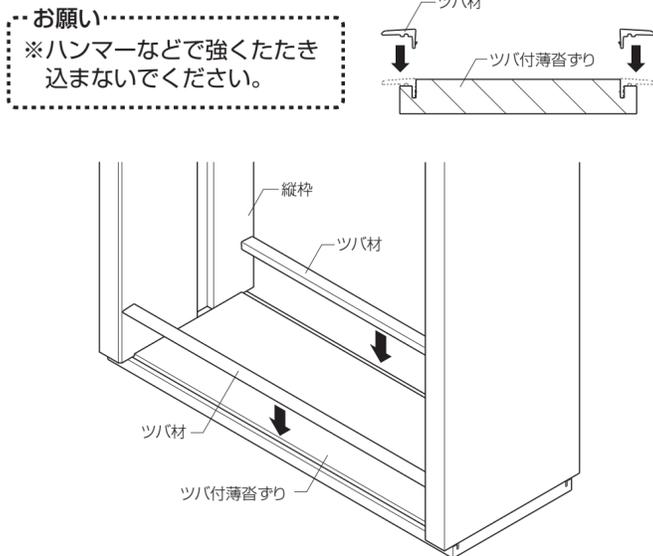
お願い
 ※標準ドア・トイレドアの場合、戸当りを確認してから、取付けて下さい。

4 ツバ材の取付け (ツバ付薄沓すりを使用する場合のみ)

- 現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- 薄沓すりの溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間無く塗布してください。

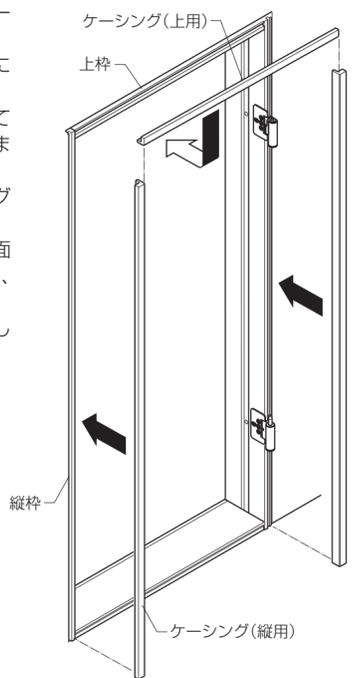


- ツバ材を溝に手ではめこんでください。



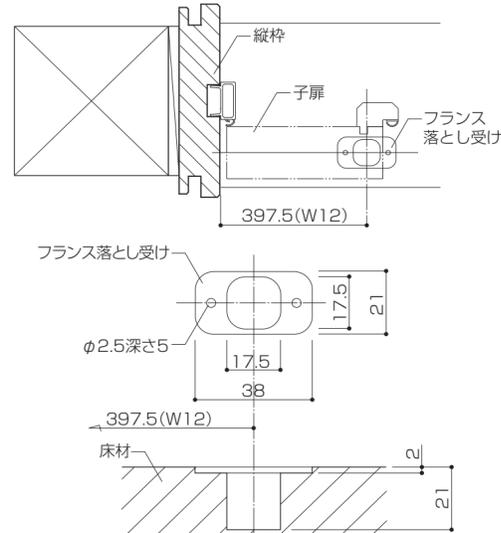
5 ケーシングの取付け

- ※壁材・床材を仕上げてからケーシングを取付けてください。
- 別梱のケーシングを現場寸法に合わせて切断します。(上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。)
 - 枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 - ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシングを固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



6 フランス落とし受けの取付け

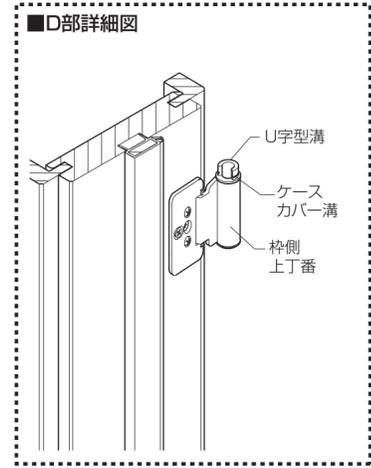
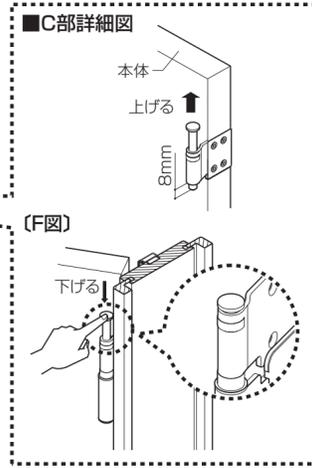
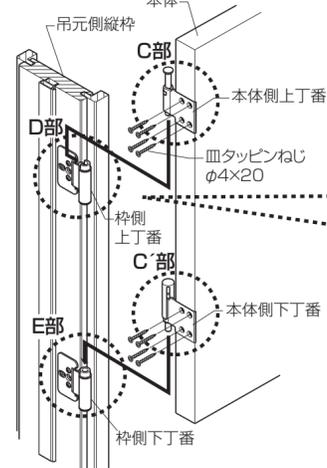
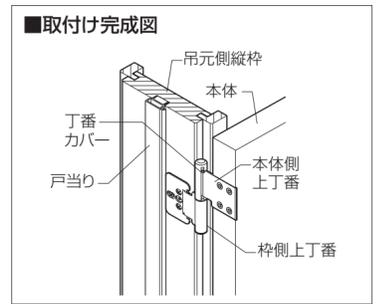
- 下図に従い床面を加工します。
 - フランス落とし受けを床面にはめ込み、木ねじで取付けます。
- ※専用の沓すりを使用する場合は、フランス落とし受けは取付け済みです。



※特寸時は、SW-6.5で算出してください。

7 ドア本体の取付け

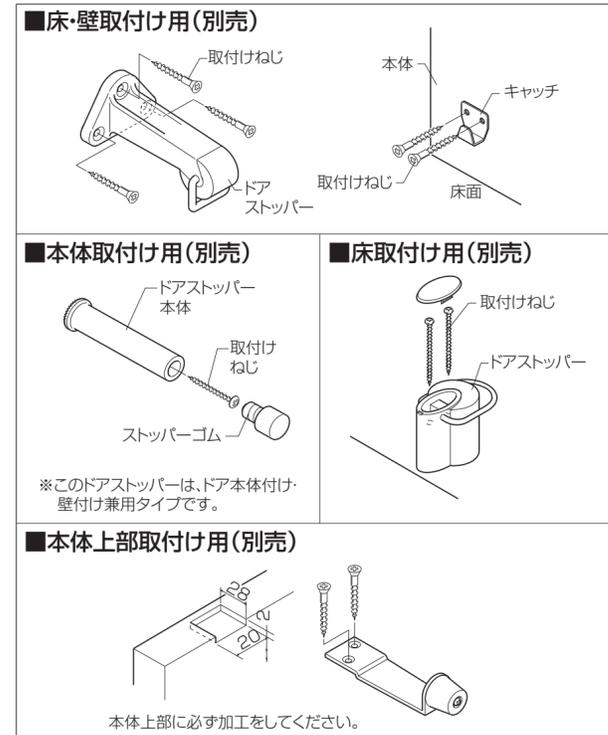
- 本体に、本体側丁番を皿タッピンねじφ4×20(枠側丁番にテープ止め)で取付けます。(C・C'部)
 ※本体は左右兼用です。取付けの際は、本体の上下を確認してください。
- 下丁番カバーを上げます。
- 上丁番カバーを外してください。
- 本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(C部)
 ※軸は8mm程残した位置で止まります。
- 本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(E部)
 ※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、本体を吊込みます。(D部)
- 本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。(F図)
- 上丁番カバーを取付けます。
- 枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- 下丁番カバーを下げます。
- 枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- 本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。



▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。本体脱落の原因につながります。
- 建付け調整(丁番による調整)時、枠側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

8 オプションドアストッパーの取付け



【本体取付け用ドアストッパーおよび、キャッチの取付け範囲】

- ※下図の斜線範囲内にドアストッパー本体又は、キャッチを取付けてください。
- ※壁取付け、床取付けドアストッパーは、キャッチの位置に合わせ、壁又は床に取付けてください。
- ※ドアストッパー取付け時には、φ1.5の下穴をあけて手回しで固定してください。電動ドライバーなどの電動工具で締付けると、空回りすることがあります。

